

小田原駅東口図書館
一般図書資料収集指針

1 目的

「小田原駅東口図書館」の一般図書資料の収集に関する基本方針を定めるものであり、今後、時代や利用者ニーズの変化に対応し、必要な改定を行うものとする。

2 基本事項

- (1) 収集対象年齢 18才程度以上
- (2) 選書趣旨 「小田原市図書館運営方針」を実現するための選書を行う。
- (3) 収集分野 図書資料（視聴覚資料は含まない。新聞及び逐次刊行物の収集については、別途定める。）

3 基本方針

図書館としての基本書の収集に留意し、「出会う図書館」の基本理念の実現に資する資料を収集する。

広範な分野の資料の中から一般利用者のニーズや興味を考慮し、資料を選択して収集する。

- (1) 多様な主義・主張のものを幅広く収集する。
- (2) 最新の情報を掲載した資料に留意し収集する。
- (3) 各分類における入門書から大学の教養課程で使用するレベルの学術書に至るまで体系に留意し選択して収集する。
- (4) 日本語を母国語としない小田原市在住者や障がい者を含め、幅広い利用者の実生活に役立つ実質的な資料に留意して収集する。
- (5) 小田原市を訪れる様々な人々に対して、地域の魅力を幅広く伝える資料を積極的に収集する。
- (6) 利用者にとって実用的で生活に役立つとともに、小田原を訪れる様々な人々に対しては、地域の魅力を幅広く伝えられる資料を積極的に収集する。
- (7) 問題解決支援として、実務的なマニュアル書などを留意して収集する。
ただし、資格取得や受験対策については、資格や進学先のガイダンス的な資料を収集し、参考書・問題集については、収集しない。
- (8) 長期の使用に適した素材や形態の資料を収集する。（具体例：書き込み本、切り取り本でない）また、配架や収納の容易な資料に留意して収集する。
- (9) 一般に流通する普及版の資料を収集する。
- (10) 視覚障がい者や高齢者に対応した資料に留意して収集する。
- (11) コミック本は、原則収集しない。ただし、学習用や解説用にまんが的な表現を用いた資料については、厳選して収集する。

4 部門別収集方針

[0類 総記]

- (1) 百科事典や辞典類を中心に、学問領域ごとに一般的な知識や情報を習得できる資料を収集する。

[1類 哲学]

- (1) 人間の精神界にかかわる著作の分野であるが、難しい学問的なものでなく、わかりやすい資料を収集する。
- (2) 特定の思想や宗教などに偏らないように、バランスに留意して収集する。

[2類 歴史]

- (1) 過去から現在に及ぶ人間生活における事象の、時間的経過と地域的展開の記述にかかわる分野で出版点数が多いため、全般にわたる基礎的な内容のものから、個別の事象にかかる内容のものまで、学問体系に留意し選択して収集する。
- (2) 歴史や伝記は、史実に基づく正確で信頼性の高いものを収集する。
- (3) 利用者として想定する観光客等に対しては、日本の戦国時代から昭和初期までの歴史や文化に関する資料を積極的に収集する。
- (4) 余暇・旅行関係の資料については、新陳代謝が激しいので、最新の情報が提供できるよう留意する。

[3類 社会科学]

- (1) 人間の社会生活にかかわる諸現象について扱う著作の分野であるが、利用者として想定する通勤者などに対しては、最新情報を掲載したビジネス関連の資料等を積極的に収集する。ただし、徒に投資や投機等を煽るものは収集しない。
- (2) 子育て世代向けの資料については、育児・家庭、社会教育問題に関連する資料を積極的に収集する。

[4類 自然科学]

- (1) 自然界に生ずる諸現象を扱う分類であるが、情報の新陳代謝が激しい区分があるので、内容の新しい資料に留意して収集する。また、高度な専門書は収集しない。

[5類 技術]

- (1) 主として第二次産業の生産諸技術および第一次産業の採鉱技術と、それらにかかわる生産・流通経済に関する分野であるが、利用者として想定する子育て世代に対しては、家政学、生活科学関連の資料（実用書）を積極的に収集する。
- (2) 利用者として想定する観光客等に対しては、城郭、別邸建築や飲食などの資料に留意して収集する。

[6類 産業]

- (1) 第一次産業の農林水産業および第三次産業の商業、運輸、情報・通信の分野であるが、情報の新陳代謝が激しい区分があるので、内容の新しい資料に留意して収集する。
- (2) 本市において盛んな産業分野についての資料は、広範に収集する。

[7類 芸術]

- (1) 芸術、スポーツ・体育および諸芸、娯楽の3群で構成されている分野であるが、余暇活動を支援するため趣味や娯楽、スポーツ関連の資料を積極的に収集する。
- (2) 大型本（美術関連等）の収集は、厳選して収集する。
- (3) 芸能関係など個人の容姿の写真のみを鑑賞する目的の資料は収集しない。

[8類 言語]

- (1) 言語に関する分野であり、出版点数は少ないが、各国語の入門書を選択して収集する。なお、在留外国人の日本語習得の支援にも留意して収集する。
- (2) 各種の辞典、ことわざ、方言、話し方、作文、手紙の書き方の資料を収集する。

[9類 文学]

- (1) 文学に関する著作と文学作品の双方に関する分野である。日本文学、各国文学の広範な分野において利用者の関心等を考慮し選択して収集する。
- (2) 文学作品については、人気作家等の新刊書については、積極的に収集する。旧作については、携帯しやすい文庫版での収集を中心とする。
- (3) 文学全集類は、基本的なものに厳選して収集する。
- (4) 文学作品（詩歌、古典、小説、随筆、記録文学、紀行）のほかに、文学史も留意して収集する。

[K類 郷土資料]

- (1) 小田原を訪れる様々な人々が、地域に関する各種の知識や情報に身近に接してもらえるよう、郷土の歴史、文化や産業等に関連した資料、また、ゆかりの人物について記述した代表的な資料やゆかりの文学者の著作を収集する。
- (2) 小田原やその周辺地域の行政刊行物や案内書、情報誌について、選択して収集する。

以 上